【児童発達支援】 （別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI練馬武蔵関教室			
○保護者評価実施期間	2025年12月1日	～	2025年12月27日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	49	（回答者数）	34
○従業者評価実施期間	2025/12/1	～	2025/12/27	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様ひとりひとりの特性や発達段階に合わせたプログラムを提供している お子様が「楽しい」と感じながら参加できる療育を心がけている	療育後の振り返りやミーティングでお子様の様子を職員間で共有し次回の支援に活かしている	職員間で支援方法について意見交換を行う場を増やしていく
2	職員それぞれ特性を生かしチームとして支援にあたっている	チーム全体でお子様を見守る意識をもち情報共有を行っている	職員一人一人が安心して意見を出せるよう環境を整えよりよい支援につなげていく
3	利用者の情報共有と振り返りを大切にし支援の質向上に努めている	日々の関わりの中で気づいた点や変化を職員間で伝えあっている	振り返りの時間を大切にし支援内容の見直しにつなげていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない	現時点でそのような取り組みを行ったことがない	今のところ親御様のご要望はないが今後相談があった場合、検討していく
2	意見交換会や保護者の交流少ない	現時点でそのような取り組みを行ったことがない	TAKUMIでの療育を望んでいる親御様が多く、今のところご要望はないが今後相談があった場合、検討していく
3			

【児童発達支援】 （別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	TAKUMI練馬武蔵関教室

公表日　2026年　2月　28日

利用児童数　：49　　回収数　：34

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31	3	0	0	広いので助かっている 人数に対し広々としている	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	34	0	0	0	ひとりひとり目がゆき届いている 年少、未就園児は数人しかいないためほぼ1対1で療育してもらっている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	3	0	1	子ども達にも分かりやすい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32	2	0	0	室温がもう少し高くてもいい 過ごしやすい 子どもからマイナスなことを聞くことがない	貴重なご意見ありがとうございます。感染症対策も考慮して換気をしており、室温が少し低めと感じる時があったかもしれません。過ごしやすい環境、温度設定に努めてまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	5	0	0	気持ちが落ち着かない場面でのフォローに感謝している 目標に向けて運動や楽しいことで療育する内容は毎度すごいなと感じている 特性に応じて優しく接してくれている	貴重なご意見ありがとうございます。引き続きお子さんの特性に合った療育が提供できるよう努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	34	0	0	0	おおむね合っている	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34	0	0	0	話し合う機会がある	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	0	0	0	本年度、園に訪問してもらった。園の先生からも対応が良かったと聞いている。 事業所側の提案があれば利用しやすい	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	1	0	0	子どもに合わせたプランの提供がある 計画に沿った支援のお陰でさらに成長している	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	1	0	1	毎回異なるプログラムに感謝している 運動は1か月に1回、創作は1週間に1回、内容が異なることを実地している	貴重なご意見ありがとうございます。お子さんに合ったプログラムを提供できるよう努めてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	4	10	10	幼稚園との状況共有をさせてもらっている	
保護者への	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34	0	0	0	同意して契約、利用させてもらっている	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34	0	0	0	目標をクリアし新しい目標を考えてもらっている 説明が丁寧だった	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	6	6	7	親が自主的に職員に尋ねたり制度を利用することがあれば、より情報提供できる	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	33	0	0	1	今後、良い方向へ向かうように提示してもらえる	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	5	0	2	見学中にも相談にのってもらい感謝している 次のクールもあるので基本的に能動的に質問しないと詳しい話が聞けないが現在は困りごとも減って満足している	時間が取れないときもあってご不便をおかけしております。ご希望があれば随時面談を行ないますので、お声がけください
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	2	0	1	計画案に沿った内容を聞いており、とてもありがたい	

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	7	8	13	兄弟の見学の許可などをしてもらいありがたい 特に交流や支援はないが今のままでいい	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	1	1	1	いつも適切に対応してくれている	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	3	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	2	1	10	SNSに投稿する際の許可の書類配布や面談は必ず別室で行うなどされている	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	0	1	2	LINEやインスタグラムを利用して発信されている	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	3	0	4	スムーズにこどもの受け渡しが出来るのか不安	貴重なご意見ありがとうございます。マニュアルを元に対応できるよう担当者が職員向け研修を行っております。より分かりやすい方法で周知してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	1	1	5	スムーズにこどもの受け渡しが出来るのか不安	貴重なご意見ありがとうございます。定期的に避難訓練（地震、火災）をお子さんと一緒に行っております。避難場所については契約の際に皆さんにお伝えしておりますが、より分かりやすい方法で共有してまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	31	1	0	1	壁等の角にガードもあり安全だと思う	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	1	0	6	小さな怪我でもフィードバックがある	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	32	1	0	0	安心して通える場所だからこそ楽しさにつながっている	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	31	2	0	0	毎週とても楽しみにしている	
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	3	0	0	OTやPTを常時在籍させてほしい 満足。子どもの成長につながった	貴重なご意見ありがとうございます。会社全体で共有・検討してまいります。

【児童発達支援】

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	TAKUMI 練馬武蔵関教室

公表日　2026年　2月　28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		十分な広さがある 天井が高いためボール遊びが楽しめる	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		児童発達支援のクールはもう少し職員配置があったほうが手厚いのではないかと思うときもある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		分かりやすい構造になっている クールダウンできる個室がある トイレも手すりがあり教室内は段差がない	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日掃除を行っている 毎週棚の下を掃除している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	6		クールダウンできる個室がある	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		毎日始まる前、終わった後、ミーティングをしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年に一度事業所アンケートを行っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		年の研修スケジュールをもとに月に1回研修を行っている	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	6		面談を設け親御様、指導員と相談しながら行っている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		面談を設け親御様、指導員と相談しながら行っている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		指導員全員が子どもの様子を伝えあい目標の見直しをしている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		療育前にミーティングを行い、前回の様子など振り返っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6		支援終了後は毎日振り返りを行い記録に残している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		サービス提供記録やミーティングでの振り返り内容の記録をとっている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	親御様からご依頼があった際に、就学支援シートにお子様の様子を記入しお渡ししている	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		毎回、親御様にフィードバックを行っている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約の際に行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	6			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	食べ物を提供してない	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			

【放課後等デイサービス】 （別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI練馬武蔵関			
○保護者評価実施期間	2025年12月1日	～	2025年12月27日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	38	（回答者数）	20
○従業者評価実施期間	2025年12月1日	～	2025年12月27日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　1月　31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様ひとりひとりの特性や発達段階に合わせたプログラムを提供している お子様が「楽しい」と感じながら参加できる療育を心がけている	療育後の振り返りやミーティングでお子様の様子を職員間で共有し次回の支援に活かしている	職員間で支援方法について意見交換を行う場を増やしていく
2	職員それぞれ特性を生かしチームとして支援にあたっている	チーム全体でお子様を見守る意識をもち情報共有を行っている	職員一人一人が安心して意見を出せるよう環境を整えよりよい支援につなげていく
3	利用者の情報共有と振り返りを大切にし支援の質向上に努めている	日々の関わりの中で気づいた点や変化を職員間で伝えあっている	振り返りの時間を大切にし支援内容の見直しにつなげていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない	現時点でその様な取り組みを行ったことがない	今のところ親御様のご要望はないが今後相談があった場合、検討していく
2	意見交換会や保護者の交流少ない	現時点でその様な取り組みを行ったことがない	TAKUMIでの療育を望んでいる親御様が多く、今のところご要望はないが今後相談があった場合、検討していく
3			

【放課後等デイサービス】

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	TAKUMI練馬武蔵関

公表日　2026月　2月　28日

利用児童数 ：38　　回収数 ：20

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	3	1		天井高くて良い環境	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1		1	少ないと感じたことはない 子どもに目の届く数の先生はいる 先生の入れ替えが多く感じる	貴重なご意見ありがとうございます。今後も適切な人員配置のもと療育に努めてまいります
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	2			いつもキレイ 整頓されている印象	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	3			子どもの特性や課題を理解してくれている	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	18	1		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	2			理解いただき面談の上作成してくれている	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1			子どもに足りないところを伸ばすように個々に応じて支援内容を設定してくれている	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	2		1	個人の目標をつくってくれている いろいろチャレンジさせてもらっている	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	11	6	目的が交流ではないため不要	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1		1	説明いただいている	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20				いつも丁寧	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	5	6	3	今までのままで十分満足している 必要ない	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19			1	通所終わりに毎回フィードバックがある	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19		1		面談ある	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20				否定をされるようなことはない よく声かけいただいている	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		4	8	8		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	2			相談した際きちんと回答をもらっている 相談や報告は言い出しやすい雰囲気	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	3		5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	3	1	1	よく避難訓練をしている	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13		2	5		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	12		3	4	危ないと感じたことはない	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1	1	1	いつも細かい説明があり安心している 怪我までいかなくてもぶつけただけでも報告がある	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	2			大好きな場所	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	5			楽しみに通所している	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	2			とても丁寧に話を聞いてくれて助かっている 成長するにつれ運動を促す＆補助は重労働なのにいつも明るく対応してくれて感謝している 外での活動があると嬉しい	いつもありがとうございます。利用者様の成長を願い今後も安全で楽しくあたたかい療育を提供できるよう努めてまいります。

【放課後等デイサービス】

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	TAKUMI練馬武蔵関

公表日　2026年　2月　28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	1	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	食べ物を提供してない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			